

法人名	社会福祉法人愛蔵会	代表者	小玉 智巳
事業所名	山田ねむの里介護センター	管理者	鈴木 毅
		法人・事業所の特徴	周囲を木立に囲まれ、落ち着いた静かな環境でお過ごしいただく事ができます。隣接する地域密着型介護老人福祉施設と連携しながら、利用される方々それぞれの思いを大切にし、その時々状況に合わせ柔軟に対応いたします。また、ご利用される方々が住み慣れた地域で喜びと生きがいを持って、自分らしく生活を送りいただけるような支援をしております。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・個別ミーティングを継続し、隣接事業所を含めた職員間連携を維持する。 ・多面的に研修の場を設け、職員のスキルアップに努める。	・個別ミーティングは継続し、隣接事業所との連携はおおむねで来ていたが、研修においては外部研修を受けることができなかったが内部研修は行えた。	・身体拘束廃止や虐待防止など来年度からの介護保険改定があるので達成できるようにしてほしい。 ・地域交流ができる機会を設け、地域のために事業所として協力できるようにしてほしい ・災害時の事を含め、地域消防等とのつながりを持ってほしい。	・個別ミーティングや全体ミーティングを通して利用者情報の共有・ケアの統一を図るべく職員間での連携を図る（多職種連携）。 ・地域に向けた発信として内外部研修や地域交流会などに参加できるように計画を作り、実践する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・跟られたりピンングのスペースを今よりも生かすため、利用者の方々それぞれが居心地よく感じられるように更に工夫をしていく。 ・利用される方々の状況に応じてピンングレイアウト等を変更できるように、その都度柔軟に考えていく。	・利用者の状況等に合わせ、室内のレイアウト変更は行っていた。それにより利用者の関係性や居心地の改善ができたケースもあった。	・利用者数が増えるとか少し手狭感を感じてしまう（スペースが限られているため） ・外のデッキを有効に使うといいのでは…。 ・それほど広くないことで利用者を見渡せるのはいいことなのではないか。	・利用者のプライバシーが守られるように情報が洩れないよう職員が注意を払い、会話等にも注意する。また、空間においても利用者が快適に生活が送りやすいように対応する。
C. 事業所と地域のかかわり	・事業所の認知度を高める為に、必要な事を考え実行する。 ・地域行事等に職員が参加する機会を設定する。	・地域とのかかわりを持つ機会が少なく、また地域行事に参加することも新型コロナウイルス感染症防止の観点から控えた。	・新型コロナウイルス感染症防止のため、地域イベント等に参加が難しかったことは理解できる。 ・民生委員の集まりなどへの参加等も検討し、その場での発信も必要なのでは。 ・運営推進会議の場では相談に乗っていただいたり地域の話ができたりするが、地域の方々が相談できる場所として認識が薄いのかもしれない。 ・今年度初めて地域の方々が集まる「七草会」に管理者が参加できた。	・新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、事業所側から情報の発信ができるように地域交流の場の情報収集を行い、参加できるように働きかけていく。

D. 地域に外向いて 本人の暮らしを支える取り組み	・参加可能な地域のイベントを確認する。 ・地域の保育所との交流を今後も継続していく。	・参加できる地域のイベントについての確認は新型コロナウイルス感染防止の観点から行うことをしなかった。 ・山田保育所との連携もできていない。	・保育園との“交流”については、できれば行いたいという立場もあり可能性としては難しいのではないのでしょうか？。 ・新型コロナウイルス感染防止をしながら、外出行事等の実施は行ってもよいと思う。 ・利用者以外の方に関わるとしてもなかなか個人情報等の兼ね合いで難しいのではないのでしょうか？	・山田保育所との交流は今後、保育所関係者とも協議しどのようなに交わることが良いかを検討し、感染症対策を施しながらかわりを持つようにする。 ・事業所交流会や地域会議の場に、介護職が参加する機会を設定していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・施設周辺地域で、問題のある利用者の有無を可能な限り把握する。 ・今後も運営推進会議で出た意見を運営改善につなげていく。	・運営推進会議の場で出た相談事などには情報の収集やサービスの検討など多様な形で検討する事はできた。 ・運営推進会議の場で意見は適切に処理し運営改善につなげるようにしている。	・運営推進会議で出た意見が地域に活用されるようになると良いと思う。 ・今年度からコロナが5類になり、会議も行えるようになったことで、顔を合せながら話し合いができることは情報共有ができるようになった。	・運営推進会議の場でねむの里の活動をより明確に説明し理解いただけるように推進委員と連携を図る。 ・推進委員からの意見、助言を取り上げ、運営改善につなげる。
F. 事業所の 防災・災害対策	・地域の消防団の方との接点を持つ。 ・火災以外の災害に対応した訓練を充実させる。	・新型コロナウイルス感染防止の観点から地域消防団等との接点を持つことができなかった。 ・火災以外の防災訓練として地震・水害を考えたが、もつといろいろな想定が必要であり、複雑な形での訓練は行うことができなかった。	・災害別の防災計画を策定していることは理解したが、実際に目に触れたことはなし。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、事業所の防災訓練には参加していないが、今後は参加できるように検討してほしい。 ・地域消防団との対応はその後、どうなったのか？。実際に連絡は取り合っているのか？。 ・推進委員からも地域の緊急避難所としての活用について話もあり、一時的な避難ができることが理解できた。	・地域の消防団の方との接点を持つ。 ・火災以外の災害に対応した訓練を充実させる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	4人	0人	0人	8人

前回の改善計画	・初期段階で得た情報を職員間で共有し、統一したケアを行う。 ・本人・家族の不安感を受け止め、初期段階での関係性に配慮しながら対応を行う。
前回の改善計画に対する取り組み結果	・初期段階における情報を事前共有することで、利用者に負担のない介護を行うことはできたと思う。 ・ケアマネから出た情報と実際に利用しての情報をすり合わせながら対応はできた。 ・初期段階での本人・家族のサービスへの不安を少しでも共有すべくコミュニケーションを図るようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	7	0	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	5	3	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	4	1	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	5	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・初期段階における情報を事前共有することで、利用者に負担のない介護を行うことはできたと思う。 ・ケアマネから出た情報と実際に利用しての情報をすり合わせながら対応はできた。 ・初期段階での本人・家族のサービスへの不安を少しでも共有すべくコミュニケーションを図るようにした。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケアマネからの情報が遅い時があり、共有自体には間に合うものの、もう少し早く共有できればよいと思う。 ・自分の中で声掛けや気遣いに不安を感じている。（うまく出来ているのかどうかなど） ・ケアマネからの情報だけでなく、自分でも情報収集ができるようになっていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・初期段階でのかかわりにおいて、ケアマネだけでなく介護職員も同行し視点を変えながら情報共有を行い、統一したケアを行う。 ・本人、家族の不安等を軽減できるよう、コミュニケーションを積極的に図り、必要においては傾聴を行い、安心した気持ちになれるように支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	2人	4人	0人	8人

前回の改善計画	・意思表示困難な利用者を中心に、それぞれに応じた日々のかかわり方を実践していく。 ・介護者の要望も踏まえた上で、利用者自身の目標や意向を実現できるよう配慮する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・意思表示困難な利用者のその都度の意思理解が難しく、その場での対応はできるが、生活等においての目標の把握が難しく出来ていない場面が多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	3	5	0	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	3	3	0	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	3	3	0	8
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	5	2	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・意思表示が難しい方にも、職員からコミュニケーションを図り意思理解をしようと努力している。 ・利用者別にはなるものの、当面の目標を把握しながら対応ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の目標「ゴール」がはっきりと理解できていない利用者がある。 ・意思表示困難利用者の対応に難しさを感じ、どのように対応したらよいか戸惑うことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者のニーズにこたえながらも家族からの意向も汲み取り、互いに生活が支えられるよう目標設定や実現に向けられるように支援する。 ・認知症状等により意思表示が難しい利用者の意向はその人の生活歴や家族からの意見などを尊重しながらもその都度に合わせて利用者を観察しながら対応を進める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
3. 日常生活の支援	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	5人	0人	0人	8人

前回の改善計画	・得られた情報を職員間で共有する方法を再考し、同一視点からケアを実践できるようにする。 ・認知症状のある方の場合、内面の変化も推察しながらサポートを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティングや職員間での話により、ある程度の共有により視点を同じくして対応を進めている。 ・認知症状への理解が不十分なこともあり、対応に戸惑い利用者の感情を悪くしてしまうことも数回あった。 ・内面の変化については理解できた部分・できなかった部分両方ともある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	3	5	0	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	2	0	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	4	2	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	2	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	3	2	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ミーティングや職員間での話により、ある程度の共有により視点を同じくして対応を進めている。 ・本人の状況に合わせた介護（入浴・排泄）は職員間での同じ介護ができるよう共有している。 ・利用者の状態を見ながら気持ちや体調の変化等に気づくよう努力している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症利用者において本人の気持ち・体調等に即応できなかったこともあった。 ・本人の声にならない声を言語化・具現化するの難しい。 ・生活歴において情報把握が少なく、わかっていないことも多々あった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・個別ケアと集団ケアの両面を使い分け、必要に応じ日常生活の援助を行う。 ・得られた情報を職員間で共有し、シームレスな対応を行う。 ・認知症状のある方への対応において、日々の変化を見逃さないよう職員間での連携を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	6人	0人	8人

前回の改善計画	・利用者それぞれの生活スタイルを把握し、周辺地域とのかかわりも確認する。 ・今後活用可能な地域資源の情報を収集する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の生活スタイルについてはケアマネの事前情報や利用してからのコミュニケーション等においておおむねの把握は出来ているが、地域とのつながりや、地域資源の理解はできず、情報収集も行っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	1	7	0	8
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	2	6	0	8
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6	1	0	8
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	1	0	7	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の生活スタイルについてはケアマネの事前情報や利用してからのコミュニケーション等においておおむねの把握は出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者と地域とのかかわりにおいて把握ができていない。 ・介護職員が利用者が住む地域資源等の把握が出来ていない。また、地域資源そのものの理解がなされていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・内部研修や情報収集により地域資源の理解を深める。 ・利用者と地域のかかわりについて、家族や本人からの情報収集を行う。 ・情報の集約によりかかわりが必要な方には支援を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	3人	1人	0人	8人

前回の改善計画	・利用者毎、ニーズに応じた適切なサービスを提供していく。 ・利用者の状態やニーズに柔軟な対応が出来るよう、職員間で情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者毎のニーズにはできるだけ対応を行い、その場に即した適切なサービス提供は行っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	1	5	2	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	2	0	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	5	0	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	5	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・必要性や本人・家族の要望に応じて「通い」「宿泊」「訪問」の提供は行えている。 ・連絡ノートの共有により、その日々のできごと等を出動している職員間での共有、またその場にはない職員には後日伝達ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源の活用ができていない。 ・その日、その時の本人の状態やニーズに合わせて柔軟な対応となると時折、家族からの意向が優先になってしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者毎、ニーズに応じた適切なサービスを提供していく。 ・利用者の状態やニーズに柔軟な対応が出来るよう、職員間で情報を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
6. 連携・協働	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	0人	0人	5人	3人	8人

前回の改善計画	・今年度も山田保育所との相互交流を継続する。 ・事業所交流会や地域会議の場に、介護職が参加する機会を設定していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・新型コロナウイルス感染防止の観点から山田保育所との相互交流は行っていない。 ・事業所交流会等においても管理職のみが出席したり、オンライン参加をしているのみ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	1	4	3	8
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	0	8	8
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	0	8	8
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	0	8	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員の勤務人数上すべて参加できたわけではないが、サービス担当者会議や病院への事前調査同席など介護職員も一緒に実施できている部分もあった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・新型コロナウイルス感染防止の観点から山田保育所との交流は行えなかった。 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から地域のイベント等に参加していない。 ・登録者以外の高齢者や子供が来ることはなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・山田保育所との交流は今後、保育所関係者とも協議しどのように交わることが良いかを検討し、感染症対策を施しながらかわりを持つようにする。 ・事業所交流会や地域会議の場に、介護職が参加する機会を設定していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
7. 運営	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	3人	1人	0人	8人

前回の改善計画	・短時間の個別ミーティングを開催し、職員の意見表明機会をつくる。 ・連絡ノート等を活用し、今後より詳細な情報収集に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・短時間の個別ミーティングは夕方に行い、その場にいる職員の意見交換の場となった。 ・連絡ノートの活用は引き続き行っている。ノートの活用により情報収集だけでなく介護に活かすことが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	4	3	0	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	7	1	0	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	4	4	0	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	0	0	8	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個別ミーティングの実施により、その日の振り返り利用者の状況などが把握でき、その後につなげることが出来ている。 ・連絡ノートの活用によりその場にはいない職員が後日確認・振り返りができる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の方の意見を聞く機会がなく、それをどのように反映するのがわからない。 ・地域の拠点となるという意識が特になかったため、積極的に地域との協働の取り組みは行っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ミーティングなどにより個人発言機会を設け、一個人だけでなく事業所全体での意思統一が図れるようにする。 ・会議等に参加できなかった職員等に連絡ノートを活用し情報共有を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	5人	1人	0人	8人

前回の改善計画	・今年度も、介護職の外部研修参加機会を設定する。 ・引続き、事故防止・リスクマネジメントに取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・外部研修会には新型コロナウイルス感染防止の観点から参加せず。 ・事故防止、リスクマネジメントは個別ミーティングや全体ミーティング等にて話し合いを行ったり、内部研修等を実施をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5	3	0	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	7	1	0	8
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	8	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・内部でのリスクマネジメント・事故防止研修等は出来ている。 ・内部研修で介護技術やコミュニケーションスキル等の研修も行えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・介護職員の外部研修等の参加はできなかった。 ・地域連絡会への参加は管理者のみとなっている。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・介護職員の外部研修等の参加（集合・オンライン問わず）ができるよう計画する。 ・地域連絡会も同様に計画をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年11月13日～11月14日
9. 人権・プライバシー	メンバー	小泉久美・横田百合子・松本悠・折笠純子・吉田経子 下山田由香・渡邊尚子・生田目利江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人	3人	2人	0人	8人

前回の改善計画	・認知症利用者を含め、リビングの狭い空間でプライバシーが保てるよう配慮していく。 ・可能な限り利用者の行動を制限せずに、ケアを実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・身体拘束、虐待は見られないものの言葉での制止等は少しみられた。認知症についての更なる理解と対応について考えていく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 身体拘束をしていない	8	0	0	0	8
② 虐待は行われていない	8	0	0	0	8
③ プライバシーが守られている	4	4	0	0	8
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	0	8	8
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	4	4	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待はなく利用者の行動をできるだけ制限する事がないように対応できた。 ・利用者の個人情報などは他者に触れることがないように対応できた。 ・プライバシーの保護には努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度を利用する対象者がいなかったため活用はしていない。 ・成年後見制度についての理解が良くできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・研修、委員会を通し身体拘束廃止、虐待防止を徹底する。 ・利用者のプライバシーが守られるように情報が洩れないよう職員が注意を払い、会話等にも注意する。また、空間においても利用者が快適に生活が送りやすいように対応する。	

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	4	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	4	0	0
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	4	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	1	0	3

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・限られたリビングのスペースを今よりも生かすため、利用者の方々それぞれが居心地良く感じられるよう更に工夫していく。 ・利用される方々の状況に応じてリビングレイアウト等を変更できるよう、その都度柔軟に考えていく。	3	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	4	0	0

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・事業所の認知度を高める為に、必要な事を考え実行する。 ・地域行事等に、職員が参加する機会を設定する。	1	1	2
1	職員はあいさつできていますか？	4	4	4
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	1	1	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	3

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・参加可能な地域のイベントを確認する。 ・地域の保育所との交流を今後も継続していく。	2	1	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	0	1	3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	2	1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	0	2

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・施設周辺地域で、問題のある利用者の有無を可能な限り把握する。 ・今後も、運営推進会議で出た意見を、運営改善につなげていく。	3	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	0	0
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3	0	1

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・地域の消防団の方と接点を持つ。 ・火災以外の災害に対応した訓練を充実させる。	2	0	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	0	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	1	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	2	2
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3	0	1

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	4	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	1	0	3

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・連絡ノートや連絡帳、ミーティング等を利用して自己評価に取り組んでいる
- ・評価においては、全職員からの聞き取りをしているので評価している。
- ・改善が必要と思われる事がどういったことなのか明確になっていない部分もある。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・必要に応じミーティングを行い利用者の情報把握に努め、それを介護に活かそうとしている。
- ・内部研修については、推進会議内での明確な説明を受けていない為、どのような研修を行っているかは把握していないが、スタッフの自己評価を見る限り内部研修は実施されていることがうかがえた。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・職員間で話し合いを持ち、皆で決めた改善計画なので達成はできると考えている。
- ・職員間での情報共有を行うことで利用者・家族が安心できる介護を提供できると思う。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・身体拘束廃止や虐待防止など来年度からの介護保険改定があるので達成できるようにしてほしい。
- ・地域交流ができる機会を設け、地域のために事業所として協力できるようにしてほしい
- ・災害時の事を含め、地域消防等とのつながりを持ってほしい。

【改善計画】※後日記入

- ・個別ミーティングや全体ミーティングを通して利用者情報の共有・ケアの統一を図るべく職員間での連携を図る（多職種連携）。
- ・地域に向けた発信として内外部研修や地域交流会などに参加できるように計画を作り、実践する。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	4	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・限られたスペースの中で、レイアウトに工夫している点においては、車椅子の利用者やご自身で歩ける利用者など場所の考慮はされている。
- ・管理者から利用者の状況に合わせ、座る場所を変えたりするなどの柔軟性を持ち合わせていることは理解できた。
- ・コロナ渦のため、実際にレイアウトが変わったかどうかまでは見ての評価ではなく、話を聞いた上での評価のため、効果においては明確に感じられないところもあった。

【前回の改善計画】

- ・限られたリビングのスペースを今よりも生かすため、利用者の方々それぞれが居心地よく感じられるように更に工夫をしていく。
- ・利用される方々の状況に応じてリビングレイアウト等を変更できるよう、その都度柔軟に考えていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・利用者数が増えると少し手狭感を感じてしまう（スペースが限られているため）
- ・外のデッキを有効に使うといいのでは…。
- ・それほど広くないことで利用者を見渡せるのはいいことなのではないか。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・利用者のプライバシーが守られるように情報が洩れないよう職員が注意を払い、会話等にも注意する。また、空間においても利用者が快適に生活が送りやすいように対応する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1	1	2
1	職員はあいさつできていますか？	4	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	1	1	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 職員の挨拶はしっかりされていた。
- ・ 事業所の地域認知度については、はっきりとした理解は難しく、西山地区に施設がある。という認識は持っているが、具体的にどういう施設なのか…という部分は理解されていないことも多い。
- ・ 運営推進会議の場において相談事、話したい事についてはしやすい環境になっている。
- ・ 新型コロナウイルス予防の観点から、地域の行事、イベントには参加できていないことが確認できた。

【前回の改善計画】

- ・ 事業所の認知度を高める為に、必要な事を考え実行する。
- ・ 地域行事等に職員が参加する機会を設定する。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・ 新型コロナウイルス感染防止のため、地域イベント等に参加が難しかったことは理解できる。
- ・ 民生委員の集まりなどへの参加等も検討し、その場での発信も必要なのでは。
- ・ 運営推進会議の場では相談に乗っていただいたり地域の話ができたりするが、地域の方々が相談できる場所として認識が薄いのかもしれない。
- ・ 今年度初めて地域の方々が集まる「七草会」に管理者が参加できた。

【改善計画】

- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、事業所側から情報の発信ができるように地域交流の場の情報収集を行い、参加できるように働きかけていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	1	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	0	1	3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	2	1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から外出行事などが執り行えなかったことについては残念と思う気持ちとやむを得ないという気持ちがある。
- ・利用者が様々な地域に住んでいることからその場所等での会議自体の参加は難しいのでは…。
- ・地域にある施設としての活動はなされていると思うが、利用者以外の方への対応となるとそこまでは手が回らないのではないかな？。

【前回の改善計画】

- ・参加可能な地域のイベントを確認する。
- ・地域の保育所との交流を今後も継続していく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・保育園との交流については、できれば行いたい互いの立場もあり可能性としては難しいのではないのでしょうか？。
- ・新型コロナウイルス感染防止をしながら、外出行事等の実施は行ってもよいと思う。
- ・利用者以外の方に関わるとしてもなかなか個人情報等の兼ね合いで難しいのではないのでしょうか？

【改善計画】

- ・山田保育所との交流は今後、保育所関係者とも協議しどのように交わることが良いかを検討し、感染症対策を施しながらかかわりを持つようにする。
- ・事業所交流会や地域会議の場に、介護職が参加する機会を設定していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	0	0
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ねむの里の利用状況などの説明を受け、把握はしやすい。
- ・推進委員からの地域在住の方の情報や対応方法について話し合いをしている。
- ・地域での行事や取り組み等についての話をしている。
- ・推進委員よりの意見を受け止め、改善につなげようとする気持ちがうかがえる。

【前回の改善計画】

- ・施設周辺地域で、問題のある利用者の有無を可能な限り把握する。
- ・今後も運営推進会議で出た意見を運営改善につなげていく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議で出た意見が地域に活用されるようになると良いと思う。
- ・今年度からコロナが5類になり、会議も行えるようになったことで、顔を合せながら話し合いができることは情報共有ができるようになった。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議の場でねむの里の活動をより明確に説明し理解いただけるように推進委員と連携を図る。
- ・推進委員からの意見、助言を取り上げ、運営改善につなげる。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	0	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	0	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	1	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	2	2
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・災害別の防災計画を策定していることは理解したが、実際に目に触れたことはなし。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、事業所の防災訓練には参加していないが、今後は参加できるように検討してほしい。
- ・地域消防団との対応はその後、どうなったのか？。実際に連絡は取り合っているのかどうか？。
- ・推進委員からも地域の緊急避難所としての活用について話もあり、一時的な避難ができることが理解できた。

【前回の改善計画】

- ・地域の消防団の方との接点を持つ。
- ・火災以外の災害に対応した訓練を充実させる。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・地域消防団とのつながりについてだが、もう少し綿密に話し合うことが必要ではないか？
- ・事業所での防災訓練については実際の状況を見てみたいと思う。
- ・地域の緊急避難所としての位置づけについては理解していなかった。

【改善計画】※後日記入

- ・地域の消防団の方との接点を持つ。
- ・火災以外の災害に対応した訓練を充実させる。